

ArcGIS

ArcGIS Online

Web アプリ テンプレート一覧資料

はじめに.....	3
各種テンプレートの詳細の表示.....	3
アプリの構成に関連するマップの設定.....	4
Portal for ArcGIS の対応バージョン.....	5
シンプルなビューアー.....	7
<i>Minimalist</i>	7
マップ スタイラー.....	8
メディア マップ.....	9
ストーリー マップ (Classic)	10
ストーリー マップ - 基本.....	10
ストーリー マップ シリーズ.....	11
ストーリー マップ ジャーナル.....	12
ストーリー マップ スワイプおよびスパイグラス.....	13
ストーリー マップ ツアー.....	14
ストーリー マップ カスケード.....	15
ストーリー マップ ショートリスト.....	16
データの収集/編集	17
<i>Crowdsourcing Polling</i>	17
<i>Crowdsourcing Reporter</i>	18
<i>GeoForm</i>	19
基本ビューアー.....	20
編集.....	21
<i>Crowdsourcing Manager</i>	22
マップ/レイヤーの比較	23
一般情報.....	23
比較.....	24
データの探索と集計	25
情報ルックアップ.....	25
サマリー ビューアー.....	26
フィルター.....	27
影響サマリー.....	28
対話形式の凡例.....	29
時間対応.....	30
標高グラフ.....	31

地域の概要表示	32
近傍.....	33
ゾーン ルックアップ.....	34
添付ファイル ビューアー.....	35
画像の判読	36
<i>Image Mask</i>	36
<i>Imagery Viewer</i>	37
<i>Image Visit</i>	38
ルート案内	39
ルート案内.....	39
3D の表示.....	40
シンプル シーン ビューアー	40
3D データの視覚化	41
シーン スタイラー.....	42
シーンとインセット マップ.....	43
ギャラリーの作成.....	44
カテゴリ ギャラリー.....	44
ミニマル ギャラリー.....	45
レイヤー ショーケース.....	46

はじめに

この資料は、ArcGIS Online または Portal for ArcGIS で使用する Web アプリケーション テンプレートの概要を説明します。本書に掲載されている画面イメージは、特定の設定に基づいた環境にて再現される一例です。

 Portal for ArcGIS のバージョンにより、使用できるテンプレートが異なります。詳しくは、「[Portal for ArcGIS の対応バージョン](#)」をご覧ください。

- アプリケーションの作成方法は、下記のヘルプをご覧ください。

ArcGIS Online ヘルプ：はじめてのアプリ作成

<https://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/create-maps/make-your-first-app.htm>

- 各テンプレートが提供する機能一覧は下記の資料をご覧ください。

ArcGIS Online Web テンプレート機能比較表：

<https://www.esri.com/products/arcgis-online/documents/>

各種テンプレートの詳細の表示

下記のヘルプを参照し、各テンプレートの説明とプレビューを確認します。

<http://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/create-maps/choose-configurable-app.htm>

1. テンプレート名をクリックし、アプリの詳細画面を開きます。



The screenshot shows the ArcGIS Online web application interface. At the top, there is a navigation bar with 'ArcGIS Online' on the left and '概要', 'できること', 'リソース', '価格', and 'ArcGIS Online を起動する' on the right. Below the navigation bar is a breadcrumb trail: 'ホーム > 基本操作 > 作成 > 解析 > 共有 > データの管理 > 管理 > 参照'. The main content area is titled '作成 / アプリの作成 / テンプレートの選択'. There is a 'トップへ戻る' button and a 'マップとレイヤーの比較' icon. The main heading is 'マップとレイヤーの比較'. Below the heading, there is a paragraph: 'これらのアプリは、地理的現象の比較に使用します。どの現象を比較対象として選択するかは、目的によります。'. There are three bullet points: 1. '解析の比較' (highlighted with a red box): '複数のマップを横に並べて比較します。たとえば、このアプリを使用して、さまざまな異なる分析方法から得られた結果、複数の場所における世帯収入の違い、1つの場所における世帯収入と不動産価値の違いなどを表示できます。また、このアプリは、価値を比較できるように、各マップで同じフィーチャに対して複数のポップアップを開く機能も提供します。' 2. '地域の概要表示': '住所またはポイントのバッファ内の距離内のレイヤーを比較します。レイヤーのコレクションをスクロールすると、現在のバッファ内のレイヤーの違いが把握できます。学校、警察署、消防署、病院などのリソースの利用可否を比較するデータを表示したり、ある住所の近くで発生した犯罪のタイプを比較したりする場合に適しています。' 3. 'マップ カラーセル': 'カラーセルによって自動再生する機能を持つマップのグループを表示します。マップ同士に関連性はないが、複数のマップを一般的なオフィス向けのディスプレイや展示会のブースに動的に表示したい場合に適しています。このアプリにはグループが必要です。'

2. [アプリケーションの表示] をクリックしてアプリのプレビューを表示します。[ダウンロード] をクリックすると、さらに詳しい情報が記載されている Github ページへ移動します。

ArcGIS 価格 マップ シーン ヘルプ サインイン

Compare Analysis

概要

Compares geographic phenomena at one or more locations with multiple side-by-side maps.

Web Mapping Application 作成者 esri_en

作成日時: 2015年3月3日 更新日: 2018年6月27日 ビュー数: 89,491

アプリケーションの表示

ダウンロード

詳細

サイズ: 3 KB
API: JavaScript
目的: 構成可能
★★★★★

所有者
esri esri_en

! テンプレートにより、サポートしているブラウザが異なります。詳細については、Github ページをご参照ください。

アプリの構成に関連するマップの設定

一部のアプリの機能を利用するには、事前にマップでの設定が必要になります。設定手順の詳細は、下記のヘルプをご参照ください。

フィーチャの属性検索

<https://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/create-maps/configure-feature-search.htm>

ブックマーク

<https://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/create-maps/bookmark.htm>

時間設定

<https://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/create-maps/configure-time.htm>

フィルター

<https://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/use-maps/apply-filters.htm>

Portal for ArcGIS の対応バージョン

Portal for ArcGIS のバージョンにより、使用できるテンプレートが異なります。

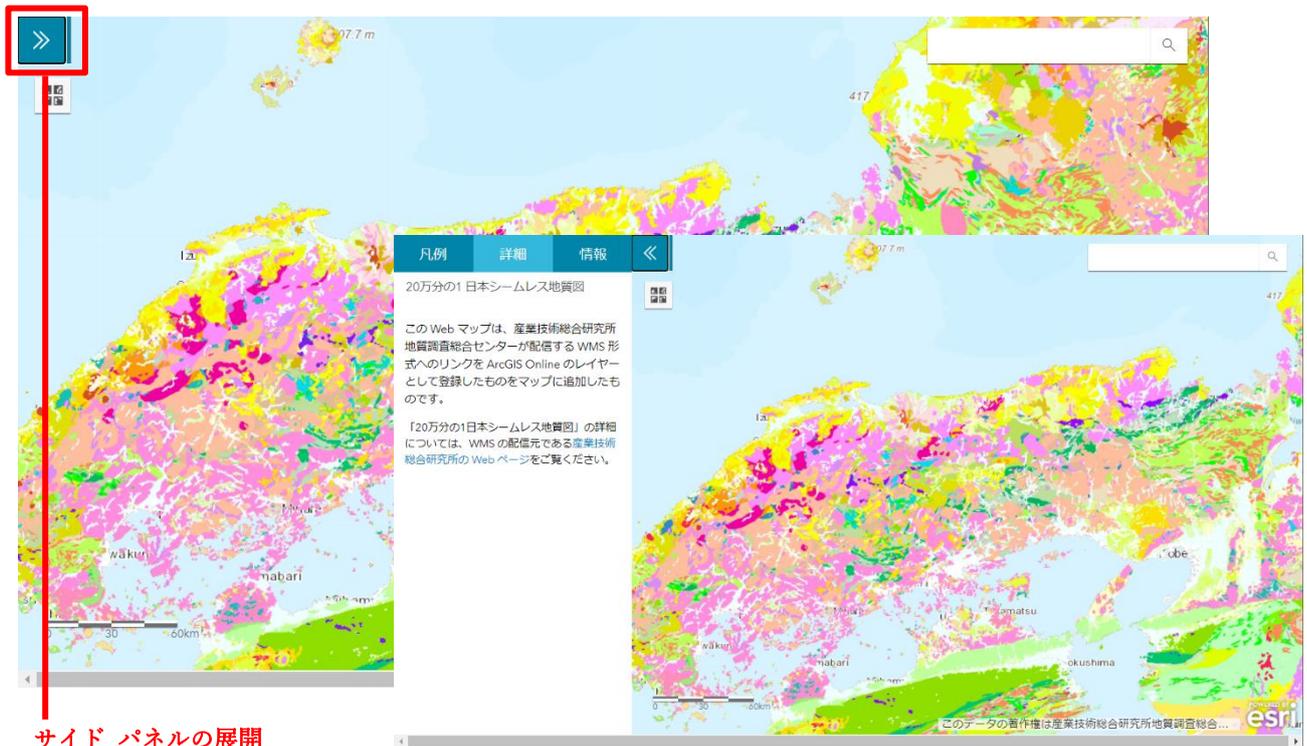
テンプレート名	Portal for ArcGIS バージョン							
	10.3.x	10.4.x	10.5	10.5.1	10.6	10.6.1	10.7	10.7.1
3D データの視覚化			○	○	○	○	○	○
Crowdsourcing Manager			○	○	○	○	○	○
Crowdsourcing Polling		○	○	○	○	○	○	○
Crowdsourcing Reporter			○	○	○	○	○	○
GeoForm	○	○	○	○	○	○	○	○
Image Mask							○	○
Image Visit							○	○
Imagery Viewer							○	○
Minimalist		○	○	○	○	○	○	○
ストーリー マップ - 基本	○	○	○	○	○	○	○	○
ストーリーマップ カスケード				○	○	○	○	○
ストーリー マップ ジャーナル	○	○	○	○	○	○	○	○
ストーリー マップ シリーズ	○	○	○	○	○	○	○	○
ストーリー マップ スワイプおよび スパイグラス	○	○	○	○	○	○	○	○
ストーリー マップ ツアー	○	○	○	○	○	○	○	○
ストーリーマップ ショートリスト								
カテゴリ ギャラリー								○
サマリー ビューアー	○	○	○	○	○	○	○	○
シンプル シーン ビューアー			○	○	○	○	○	○
シーン スタイラー							○	○
シーンとインセット マップ							○	○
フィルター	○	○	○	○	○	○	○	○
マップ スタイラー							○	○
ミニマル ギャラリー						○	○	○
メディア マップ						○	○	○

ルート案内	○	○	○	○	○	○	○	○
レイヤー ショーケース							○	○
一般情報	○	○	○	○	○	○	○	○
地域の概要表示	○	○	○	○	○	○	○	○
基本ビューアー	○	○	○	○	○	○	○	○
対話形式の凡例								○
影響サマリー	○	○	○	○	○	○	○	○
情報ルックアップ	○	○	○	○	○	○	○	○
時間対応	○	○	○	○	○	○	○	○
標高グラフ	○	○	○	○	○	○	○	○
比較							○	○
添付ファイルビューアー								
編集	○	○	○	○	○	○	○	○
マップ ツール	○	○	○	○	○	○		
シンプル マップ ビューアー	○	○	○	○	○	○		
検索、編集、およびフィルター	○	○	○	廃止	廃止	廃止	廃止	廃止
解析の比較	○	○	○	○	○	○	廃止	廃止
ファインダ	○	○	○	廃止	廃止	廃止	廃止	廃止
シーンの比較			○	○	○	○	廃止	廃止
パブリック ギャラリー	○	○	○	○	廃止	廃止	廃止	廃止
マップ カラーセル	○	○	○	○	○	○	廃止	廃止
マップおよびアプリケーション ギャラリー	○	○	○	○	○	廃止	廃止	廃止
近傍								

シンプルなビューアー

Minimalist

とてもシンプルなマップ ビューアーです。必要に応じて、左のサイド パネル内にマップの説明、凡例、ポップアップの内容を表示できます。



- 作成時の注意点

- 特になし。

- 使用方法

- マップを拡大、縮小、移動します。

- サイド パネルが構成されている場合、 をクリックし、マップの説明、凡例、クリックしたフィーチャの属性を閲覧します。

- 活用シーン

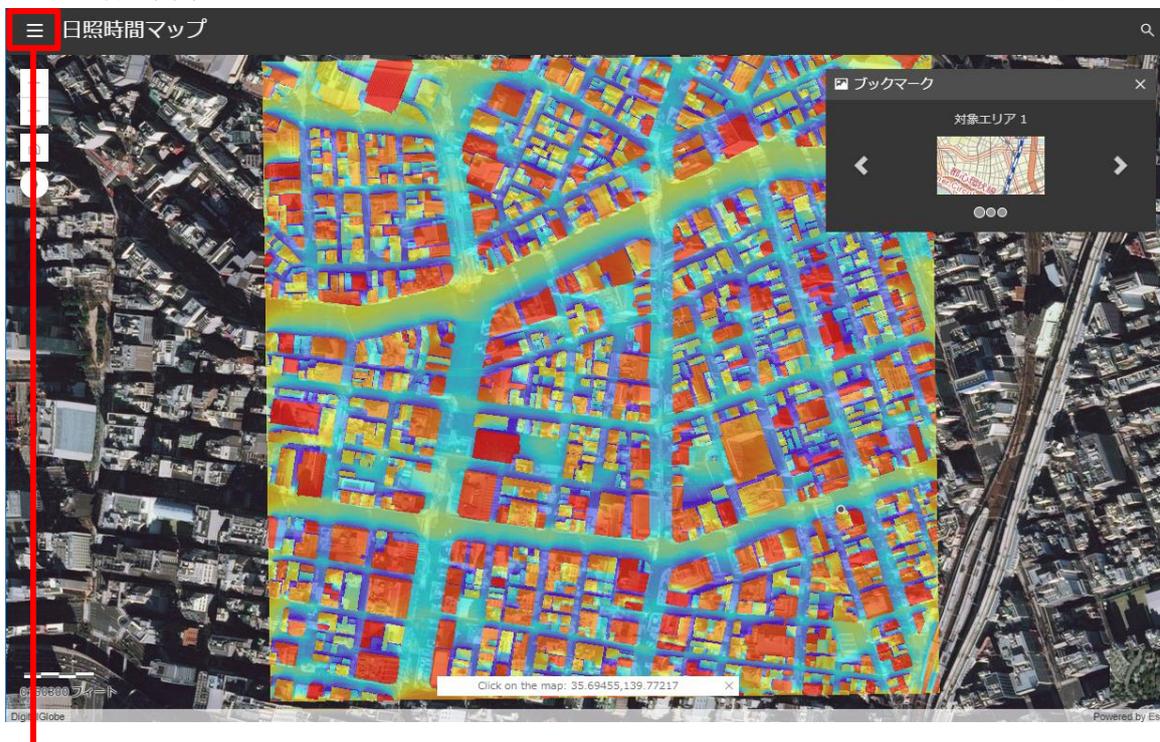
- マップだけを表示するシンプルなビューアーを提供したい場合。

- ソース

<https://github.com/Esri/embed-template>

マップ スタイラー

マップの外観を簡単にカスタマイズできるシンプルでスタイリッシュなビューアーです。



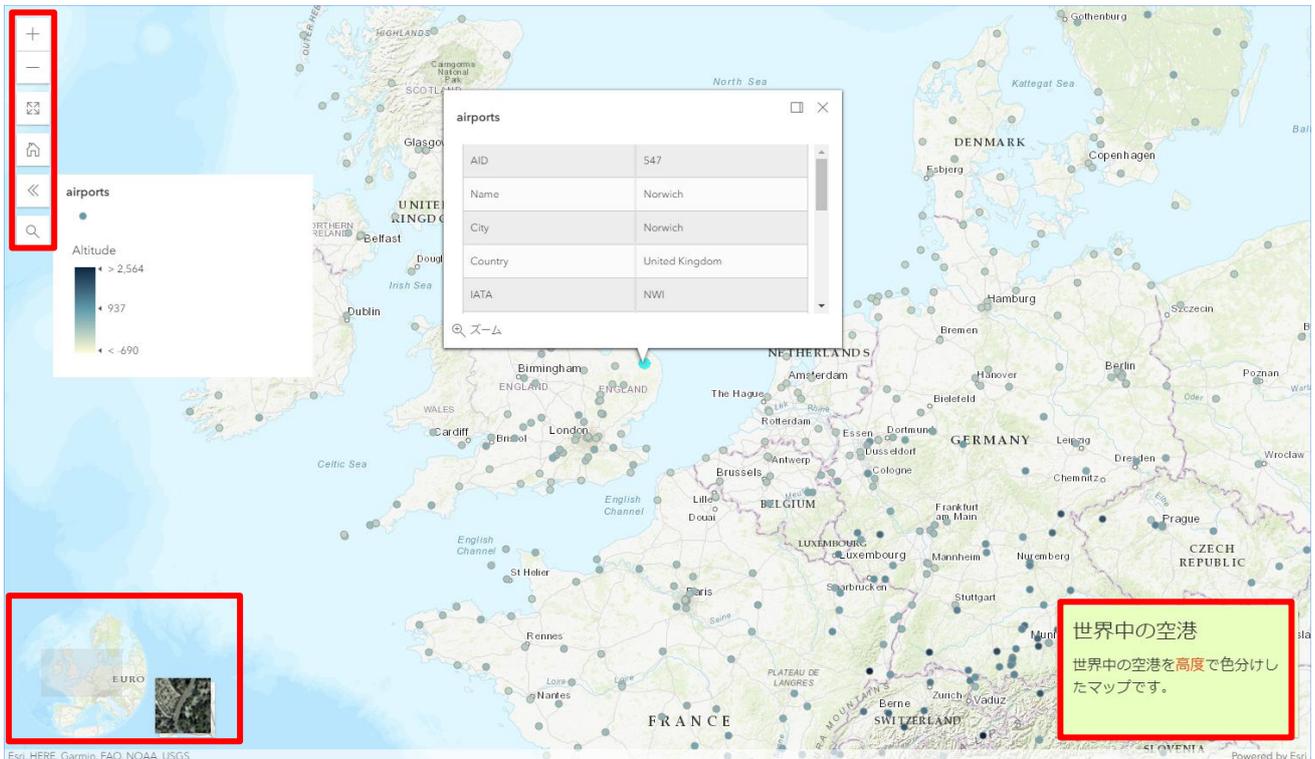
有効化されたツールにアクセス

- 作成時の注意点
 - 特になし
- 使用方法
 - マップを拡大、縮小、移動するのに加え、アプリで有効になっているツールを利用できます。
 -  をクリックすると、凡例、レイヤー、ベースマップ、ブックマーク、印刷、共有ツールへアクセスできます。
- 活用シーン
 - 必要最低限の機能を持つシンプルなビューアーを提供したい場合。
- ソース

<https://github.com/Esri/calcite-maps-styler-template>

メディア マップ

マップ閲覧に関連したツールや機能を配置できるビューアーです。



配置できるツールと機能：

マップの説明、概観図、住所と場所検索、凡例、ベースマップの切替え、ブックマーク、マップの最大化、タイムスライダー、スワイプ

● 作成時の注意点

– 特になし。

● 使用方法

- クリックした属性の情報をポップアップで表示します。
- マップを拡大、縮小、移動するのに加え、アプリで有効になっているツールを利用できます。
- 時間を有効化したレイヤーがある場合、タイム スライダーを表示できます。
- スワイプ バー（水平・垂直）を表示できます。

● 活用シーン

– マップだけを表示するシンプルなビューアーを提供したい場合。

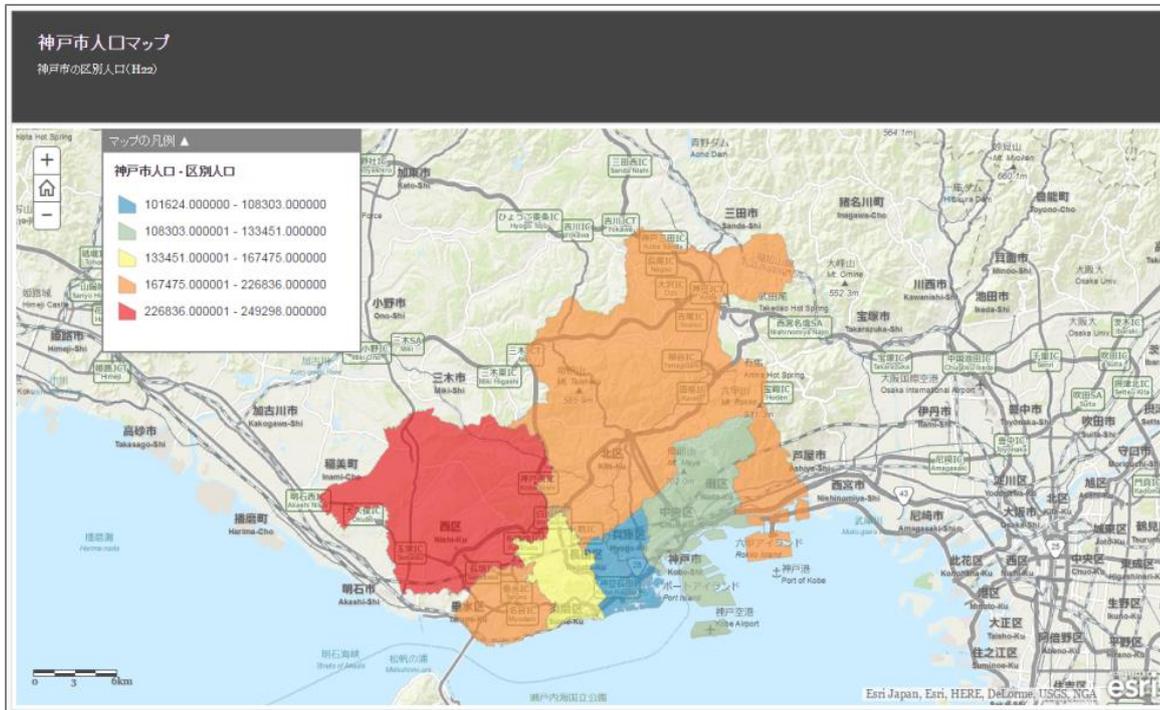
● ソース

<https://github.com/Esri/media-template>

ストーリー マップ (Classic)

ストーリー マップ - 基本

マップのタイトル、説明文、折り畳み式の凡例を追加した、シンプルなビューアーです。



- 作成時の注意点

- 特になし

- 使用方法

- マップを拡大、縮小、移動します。

- [マップの凡例] をクリックして、凡例の表示と非表示を切り替えます。

- 活用シーン

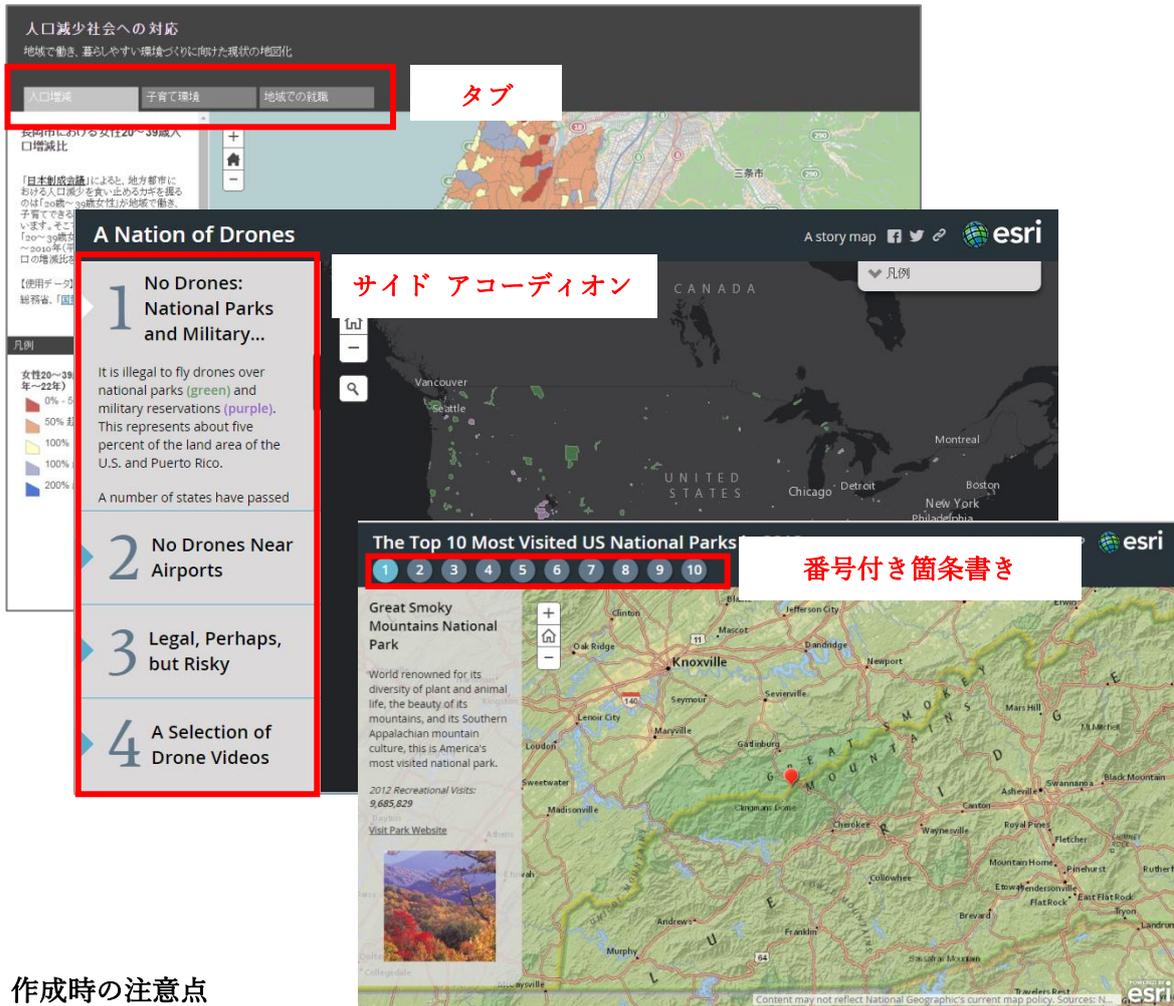
- マップのタイトル、短い説明文、凡例のみをレイアウトした、単純なマップを公開したい場合。

- ソース

<https://github.com/Esri/storymap-basic/>

ストーリー マップ シリーズ

複数のマップを切り替えて表示するビューアーです。タブ、サイド アコーディオン、または番号付き箇条書きのいずれかのレイアウトを選択できます。



- 作成時の注意点

- 複数のマップが必要です。事前に用意しておいたマップを使用するか、ビルダー内でマップを作成します。

- 使用方法

- タブ、サイド アコーディオン コントロール、または番号をクリックして、マップを切り替えます。

- 活用シーン

- 複数のマップを切り替えるアプリを提供したい場合。

- ソース

<https://github.com/Esri/storymap-series/>

ストーリー マップ ジャーナル

各ページにマップ、画像、動画などのマルチメディア コンテンツを追加し、本を読み進むように表示できるビューアーです。



ページ送り

- 作成時の注意点

- 複数のマップ、画像、動画、文章など、ジャーナルに追加する内容を用意しておく必要があります。マップは、ビルダー内で作成可能です。

- 使用方法

- スクロール、またはページ送りをクリックして、掲載内容を閲覧します。
- ハイパーリンクが設定されたテキストをクリックして、表示されるマップや内容を閲覧します。

- 活用シーン

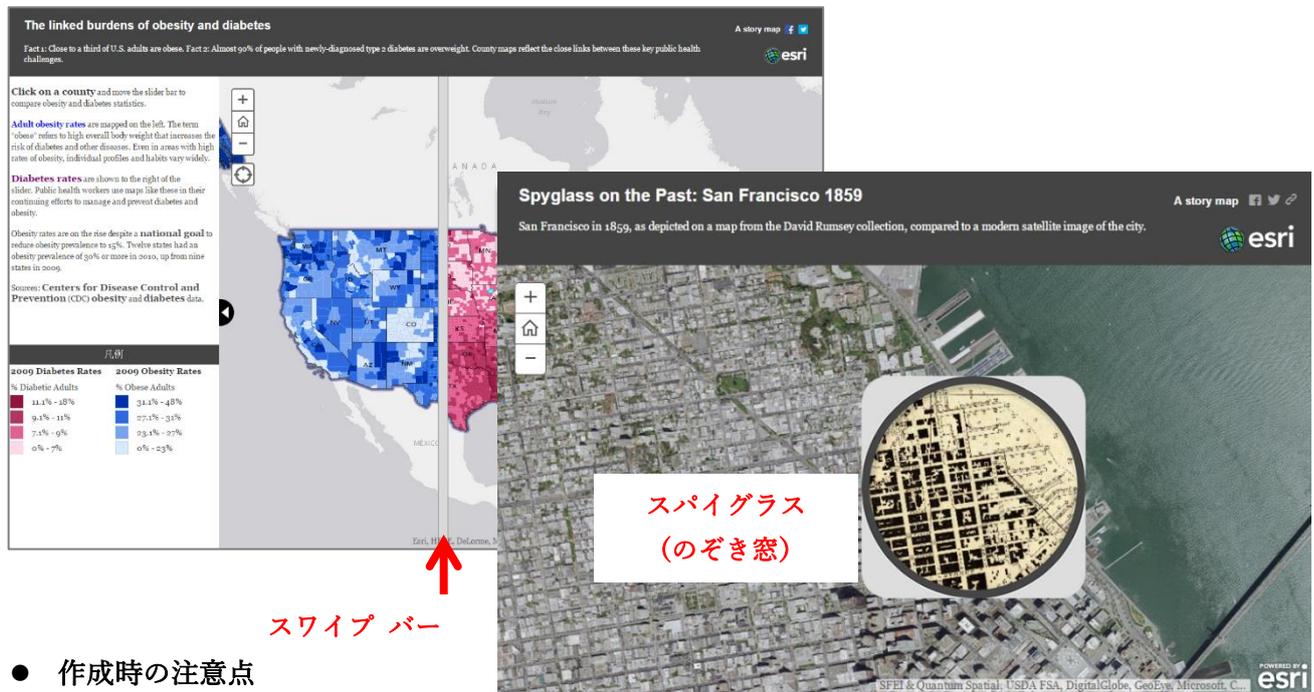
- 大量のテキストや画像や動画などをマップと組み合わせた、マルチメディア ストーリーを作成したい場合。

- ソース

<https://github.com/Esri/storymap-journal/>

ストーリー マップ スワイプおよびスパイグラス

スワイプ バーまたはスパイグラス（のぞき窓）を使用して、マップ内の複数のレイヤーを比較したり、異なる 2 つのマップを比較したりできるビューアーです。



- 作成時の注意点

- マップに 2 つ以上の重複するレイヤーを追加しておく必要があります。または、同地域を表示する 2 つのマップを用意します。

- 使用方法

- スワイプ：スワイプ バーをクリックして、左右方向にドラッグします。
- スパイグラス：スパイグラスをクリックして、マップ上をドラッグします。

- 活用シーン

- 同じ位置に重なる 2 つのレイヤーや、同地域を表示する 2 つのマップを比較したい場合。

- ソース

<https://github.com/Esri/storymap-swipe/>

ストーリー マップ ツアー

写真とマップ上の位置を連動して表示させるビューアーです。



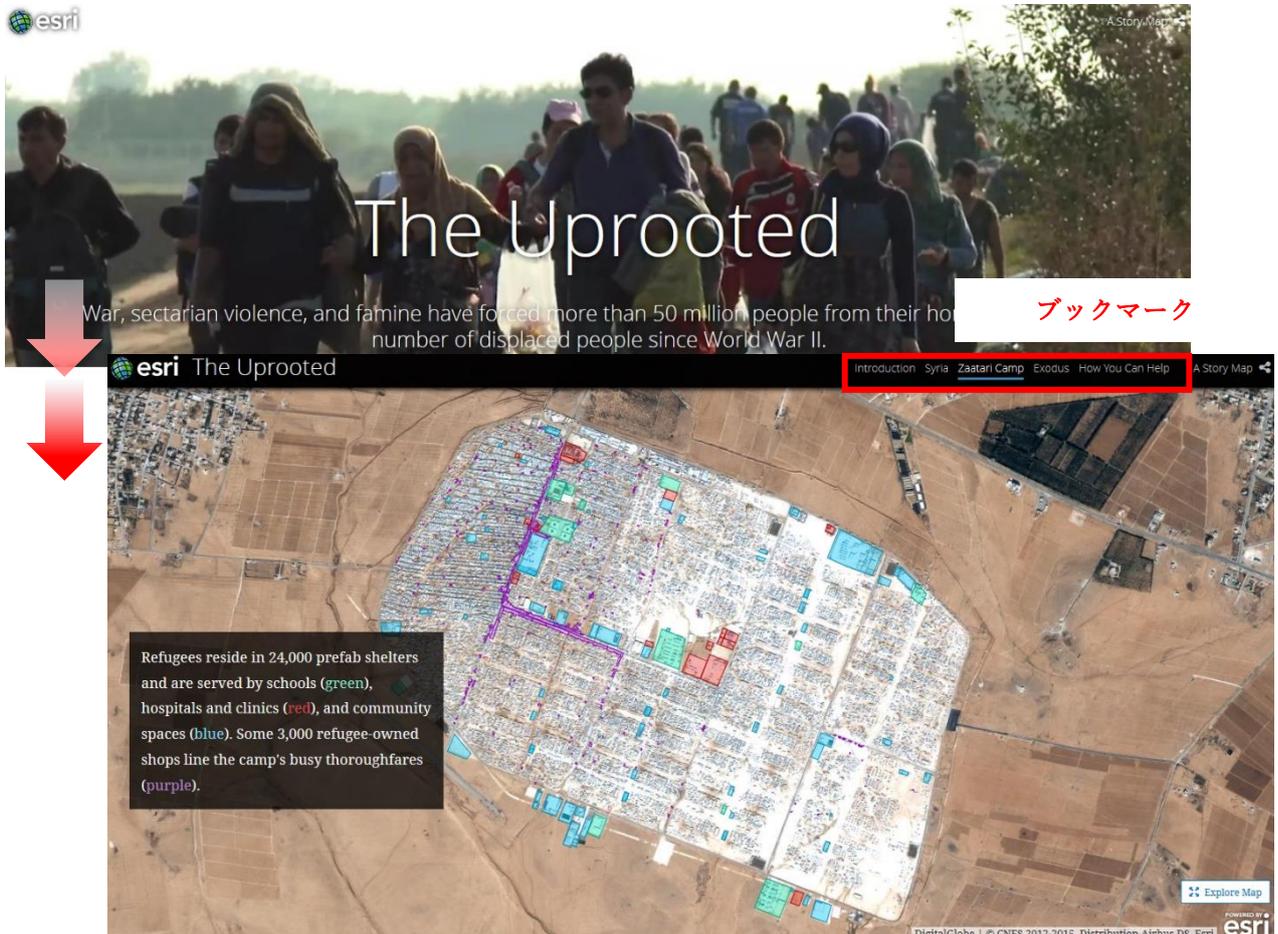
サムネイル

- 作成時の注意点
 - － 写真に位置情報（ジオタグ）が付いていない場合は、手動でその写真と関連する位置を指定します。
- 使用方法
 - － 写真または動画の横矢印をクリック、またはサムネイル画像をクリックして、次の写真とその位置を表示します。
 - － マップ上のポイントをクリックすると、その位置と関連する画像または動画が表示されます。
- 活用シーン
 - － 一連の場所を順番にたどるように写真や動画を表示するアプリを作成したい場合。
- ソース

<https://github.com/Esri/storymap-tour/>

ストーリー マップ カスケード

各ページにマップ、画像、動画などのマルチメディア コンテンツを掲載し、全画面表示のスクロール操作で物語を伝える没入型のアプリケーションを作成できます。



● 作成時の注意点

- 複数のマップ、画像、動画、文章など、カスケードに掲載する内容を用意しておく必要があります。

● 使用方法

- ページをスクロール、または各ブックマークをクリックして、掲載内容を閲覧します。
- ハイパーリンクが設定されたテキストをクリックして、表示されるマップや内容を閲覧します。

● 活用シーン

大量のテキストや画像や動画などをマップと組み合わせた、マルチメディア ストーリーの作成やプレゼンテーションを行いたい場合。

● ソース

<https://github.com/Esri/storymap-cascade/>

ストーリー マップ ショートリスト

画像一覧とその位置をマップ上で表示します。タブで切り替えて表示も可能です。



- 作成時の注意点

- 画像とその位置、説明文などショートリストに掲載する内容を用意しておく必要があります。

- 使用方法

- ショートリスト内の画像をクリックして説明文を表示、またはマップ上のポイントをクリックして画像と説明文を表示します。
- 詳細の < や > をクリックして前後の画像とその位置に移動します。
- 説明文にハイパーリンクがある場合、クリックして関連する Web サイトへ移動します。

- 活用シーン

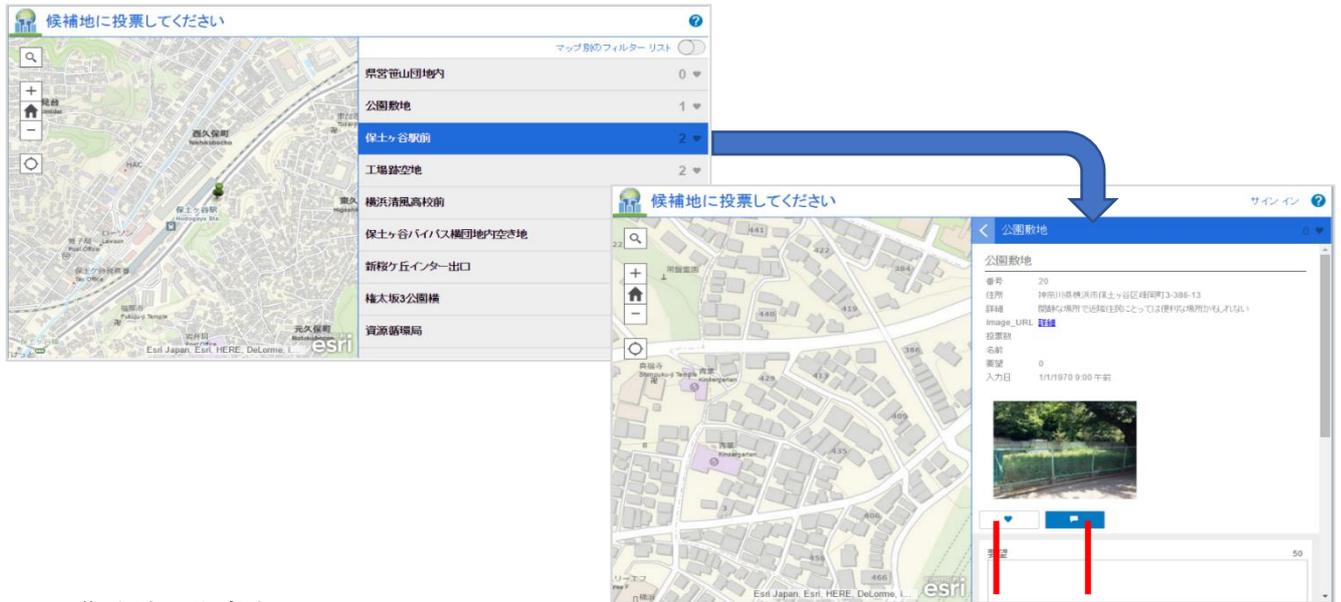
- カテゴリや地域ごとに分けて複数の画像とその位置を一覧で表示したい場合。
- 画像について詳細な説明を書きたい場合。

- ソース

<https://github.com/Esri/storymap-shortlist/>

Crowdsource Polling

フィーチャに関する情報を表示し、コメント入力や投票を行う機能を提供するアプリです。アプリ作成者は他のユーザーが送信したフィードバックを確認できます。



● 作成時の注意点

- Web マップに編集可能なフィーチャ レイヤーを追加しておく必要があります。
- フィーチャ レイヤーには投票数を格納するための整数値フィールドが追加し、[Votes Field] に指定します。
- コメントを入力させるには、ArcGIS for Desktop でリレーションシップ クラスを設定した関連テーブルが必要です。

● 使用方法

1. 設定されている場合は、Facebook、Twitter、Google+ 認証情報を使用してアプリにサイン インします。
2. 候補一覧をクリックして選択します。
3. [このアイテムに投票] をクリックして投票します。また、[コメントを追加] をクリックし、コメントを入力して送信します。

● 活用シーン

- ユーザーがマップ上で投票やコメント入力ができる機能を提供したい場合。

● ソース

<https://github.com/Esri/crowdsourcing-polling>

Crowdsorce Reporter

複数のマップを切り替えて表示し、マップ内のフィーチャに関する情報を表示して投票を行ったり、新規情報を登録したりする機能を提供します。



● 作成時の注意点

- Web マップに編集可能なフィーチャ レイヤーを追加しておく必要があります。
- フィーチャ レイヤーには投票数を格納するための整数値フィールドが追加し、[Votes Field] に指定します。
- 複数のマップをグループに共有する必要があります。

● 使用方法

1. 設定されている場合は、Facebook、Twitter、Google+ 認証情報を使用してアプリにサインインします。
2. 右パネルからマップを選択します。
3. マップ上のフィーチャをクリックするか、右パネルのフィーチャのリストをクリックして情報を表示します。
4. 投稿する場合は、[このレポートに投票] をクリックします。
5. 新規の情報を登録する場合は、[レポートの送信] をクリックし、情報と場所を入力して [レポートする] をクリックします。

● 活用シーン

- 複数のマップ内の情報の参照、投票、新規の情報の登録ができる機能を提供したい場合。

● ソース

<https://github.com/Esri/crowdsorce-reporter>

GeoForm

入力フォーム形式で属性とポイントを入力できるアプリです。

The screenshot shows the '騒音調査' (Noise Survey) application interface. It is divided into three main sections:

- 1. 情報の入力 (Information Input):** Contains a dropdown menu for '調査員' (Surveyor) with 'dbid' selected, a date input field for '調査日時' (Survey Date/Time), and a text input field for 'dB'.
- 2. 位置の選択 (Location Selection):** Includes a search bar with '住所または場所の検索' (Search address or location) and a button '現在の場所を検索' (Search current location). Below the search bar, it shows coordinates: '緯度: 35.61709, 経度: 140.11014'. A map is displayed with a blue location pin.
- 3. フォームの入力 (Form Input):** Contains a button 'エントリの送信' (Send entry) and a button '送信内容を表示' (Show submission content).

● 作成時の注意点

- Web マップに編集可能なポイントのフィーチャ レイヤーを追加しておく必要があります。
- リスト ボックスから値を選択入力させる場合は、事前に ArcGIS for Desktop でフィールドに対してドメインを設定します。
- カレンダー コントロールから入力させる場合は、日付型フィールドを持つフィーチャ レイヤーを追加しておく必要があります。

● 使用方法

1. ブラウザーで、アプリを起動します。
2. 「情報の入力」欄で、属性の入力フォームに情報を入力します。
3. 「位置の選択」欄で、マップを使用してポイントの位置を指定します。
4. 「エントリの送信」ボタンをクリックします。ポイントが追加されます。

● 活用シーン

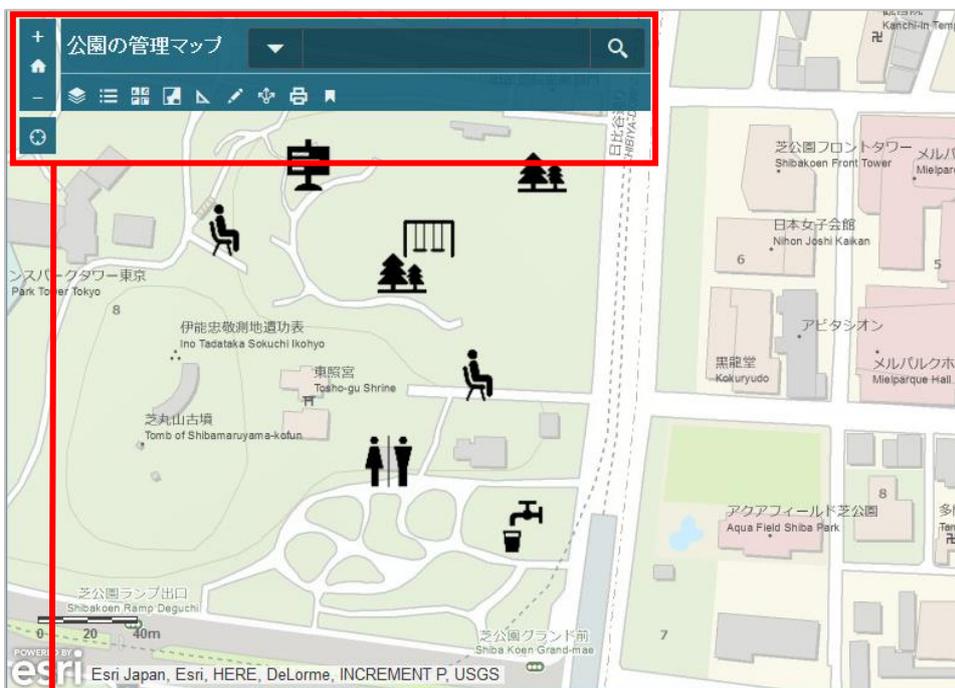
- モバイル端末を利用した現地調査をする場合。

● ソース

<https://github.com/Esri/geoform-template-js>

基本ビューアー

使用頻度の高いツールや機能を自由に組み合わせて提供できるアプリです。編集機能も提供します。



利用できるツールと機能：

住所と場所検索、現在地の表示、凡例、レイヤーの表示/非表示、ベースマップの切替え、概観図の表示、計測、編集、共有、印刷、ブックマーク

● 作成時の注意点

- 編集機能を提供する場合は、マップに編集可能なフィーチャ レイヤーを追加しておく必要があります。
- 印刷機能を提供する場合は、日本語が正常に表示されるように、[Print Setting] の [Format] に PDF 以外の形式 (PNG8、PNG32 など) を入力します。

● 使用方法

- マップを拡大、縮小、移動するのに加え、アプリで有効になっているツールと機能を利用できます。

● 活用シーン

- 編集機能を含む、GIS の基本的な機能を持つアプリを提供したい場合。

● ソース

<https://github.com/Esri/Viewer>

編集

基本的な編集機能を提供するアプリです。



- 作成時の注意点
 - マップに編集可能なフィーチャ レイヤーを追加しておく必要があります。
- 使用方法
 - 新規フィーチャを追加するには、左の編集パネル内のアイコンを選択し、マップ上をクリックし、属性情報を入力します。
 - 既存フィーチャを編集するには、マップ上でフィーチャをクリックし、図形の移動、形状変更、属性の編集、削除を行います。
 - 編集内容は自動的に保存されます。
- 活用シーン
 - ユーザーにレイヤーの編集機能を提供したい場合。
- ソース
 - <https://github.com/Esri/edit-template>

Crowdsourcing Manager

複数のマップを切り替えて表示し、データの属性を編集する機能を提供します。

The screenshot displays the Crowdsourcing Manager interface. At the top, there is a search bar labeled '検索' and a filter icon labeled 'フィルター'. Below this, a sidebar on the left shows a list of map layers: '野草調査', '公園施設管理', '巨木調査', '鳥獣保護区', and '巨木'. A red bracket groups the first three layers with the label 'マップ一覧'. Another red bracket groups the last two layers with the label 'マップ内の編集可能なレイヤー'. The main area shows two data tables. The top table has columns for '樹種', '樹幹', and '樹高'. The bottom table is a detailed view of a record for '池の 岱の 古スギ', with a red box around the '編集' (edit) icon. The background shows a map of the area with a red square indicating the location of the selected record.

樹種	樹幹	樹高
スギ	301	20
スギ	350	38
スギ	350	38

樹種	樹幹	樹高
スギ	350	460
スギ	380	440

● 作成時の注意点

- 編集可能なレイヤーを追加した複数のマップをグループに共有する必要があります。
- 検索やフィルター機能を使用する場合は、事前にマップの設定を行う必要があります。

● 属性の編集方法

1. 左パネルでマップをクリックして選択します。複数の編集可能なレイヤーが追加されている場合は、編集したいレイヤーを選択します。
2. マップ上のフィーチャを選択するか、テーブル上で更新したいレコードを選択して属性パネルを表示し、[レコードの編集]  をクリックして属性を編集します。

● 活用シーン

- Collector for ArcGIS などを入力した複数のマップを閲覧し、属性の編集を行いたい場合。

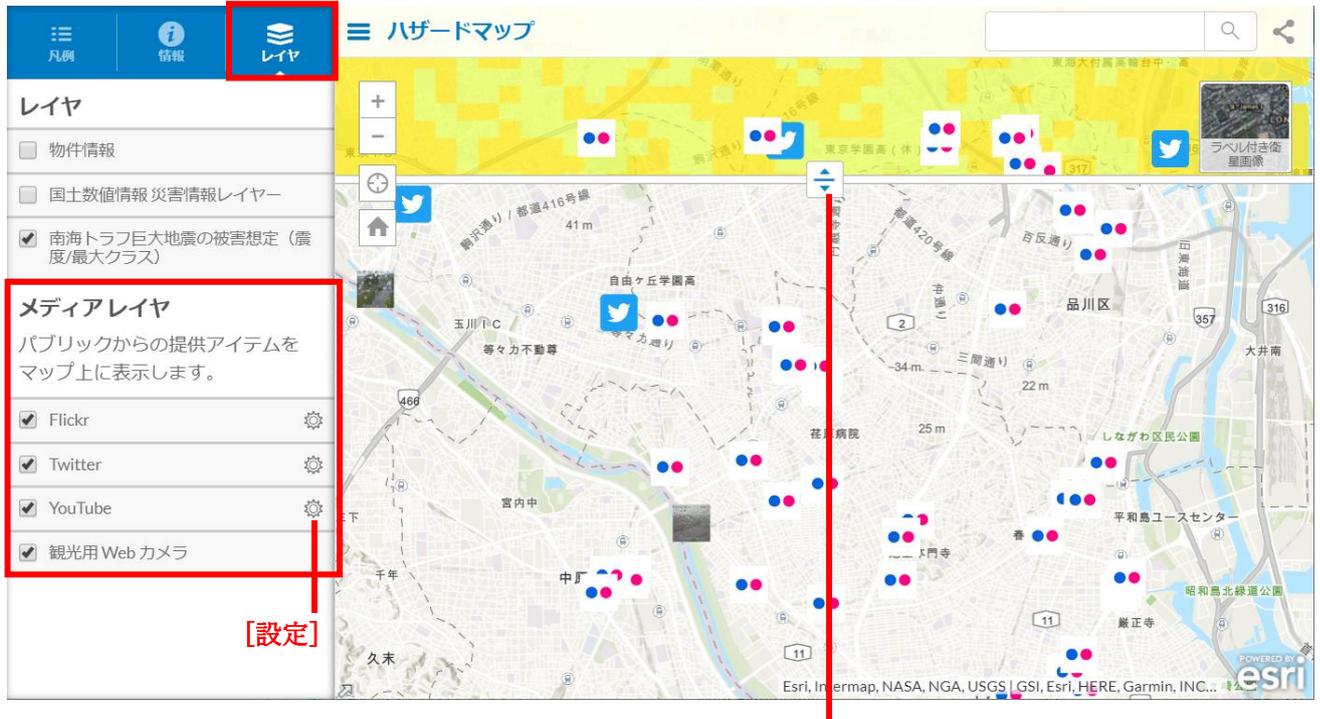
● ソース

<https://github.com/Esri/crowdsourcing-manager>

マップ/レイヤーの比較

一般情報

位置情報を持つソーシャル コンテンツ (Flickr、Twitter、YouTube、Webcams.travel) をマップに表示する機能と、スワイプ/スパイグラス機能を提供します。



● 作成時の注意点

- 特になし

● 使用方法

- [凡例] パネルで凡例を参照します。

- [情報] パネルで、マップの説明、更新日、閲覧数を確認します。

- [レイヤー] パネルで、追加したい SNS 情報にチェックを入れます。

- [設定]  をクリックすると、SNS 情報の検索キーワードやアップロードされた期間を指定できます。

- スワイプ機能が有効になっている場合は、スワイプ バーまたはスパイグラスを動かして、レイヤーを比較します。

● 活用シーン

- マップに SNS 情報を重ねて表示したい場合。

● ソース

<https://github.com/Esri/public-information-map-template-js>

比較

2つのマップを並べて比較できるビューアーです。

計測ツール



スワイプ バー

配置できるツールと機能：

マップタイトル、ベースマップの切り替え、最大化ボタン、住所検索、凡例、ブックマーク、ホーム、計測ツール、縮尺バー、共有ボタン

● 作成時の注意点

- 2つの Web マップ (2D) / Web シーン (3D) を用意しておく必要があります。
- [Web マップの選択] ダイアログで、表示したい Web マップ (2D) / Web シーン (3D) 選択します。

● 使用方法

- [アプリケーションの構成] 時に、マップ範囲・ポップアップを同期させるかを選択します。
- ブックマーク機能を利用したい場合は、Web マップで作成しておく必要があります。

● 活用シーン

- 2つのマップを並べて比較したい場合。

● ソース

<https://github.com/Esri/Compare-Maps-Template>

データの探索と集計

情報ルックアップ

指定した地点がエリアの内外かどうかをポップアップで通知するアプリです。



- 作成時の注意点
 - マップにポリゴン フィーチャ レイヤーを追加し、ポリゴンを**非表示**に設定しておく必要があります。
- 使用方法
 - 検索ボックスに住所または場所を入力するか、マップ上をクリックします。
 - ポップアップの内容を確認します。
- 活用シーン
 - マップ上にはポリゴンを表示せずに、ユーザーが指定した地点がポリゴンの内外かを判別させたい場合。
 - インフラ、ケーブル テレビ、配送などのサービス提供者が提供エリアを公開したくないが、顧客の問い合わせに対してサービス提供の有無を通知したい場合など。
- ソース

<https://github.com/Esri/information-lookup>

サマリー ビューアー

現在のマップ範囲内の全フィーチャの指定したフィールド値の合計値、平均値、最小値、最大値を表示するビューアーです。表示範囲が変わるごとに集計処理を行います。



集計結果

ポイント フィーチャ追加している場合、ポイントをまとめて（クラスタリング）表現

- 作成時の注意点
 - Web マップに、数値型フィールドを持つフィーチャ レイヤーを追加しておく必要があります。
- 使用方法
 - マップを拡大、縮小、移動します。表示範囲に応じて、画面下の COUNT（フィーチャ数）、SUM（合計値）、AVG（平均値）、MIN（最小値）、MAX（最大値）が動的に変更されます。
- 活用シーン
 - 人口、売上などの数値情報を扱う地図を使って、特定エリアの統計値を調べる場合。
- ソース

<https://github.com/Esri/summary-viewer-template>

フィルター

指定した条件でフィーチャを絞り込み表示(フィルタリング)する機能を提供します。



● 作成時の注意点

- マップにフィーチャ レイヤーを追加しておく必要があります。
- レイヤーにフィルターの設定をしておく必要があります。

● 使用方法

- テキスト ボックスに絞り込みのキーワードを入力し、フィルターを適用します。

● 活用シーン

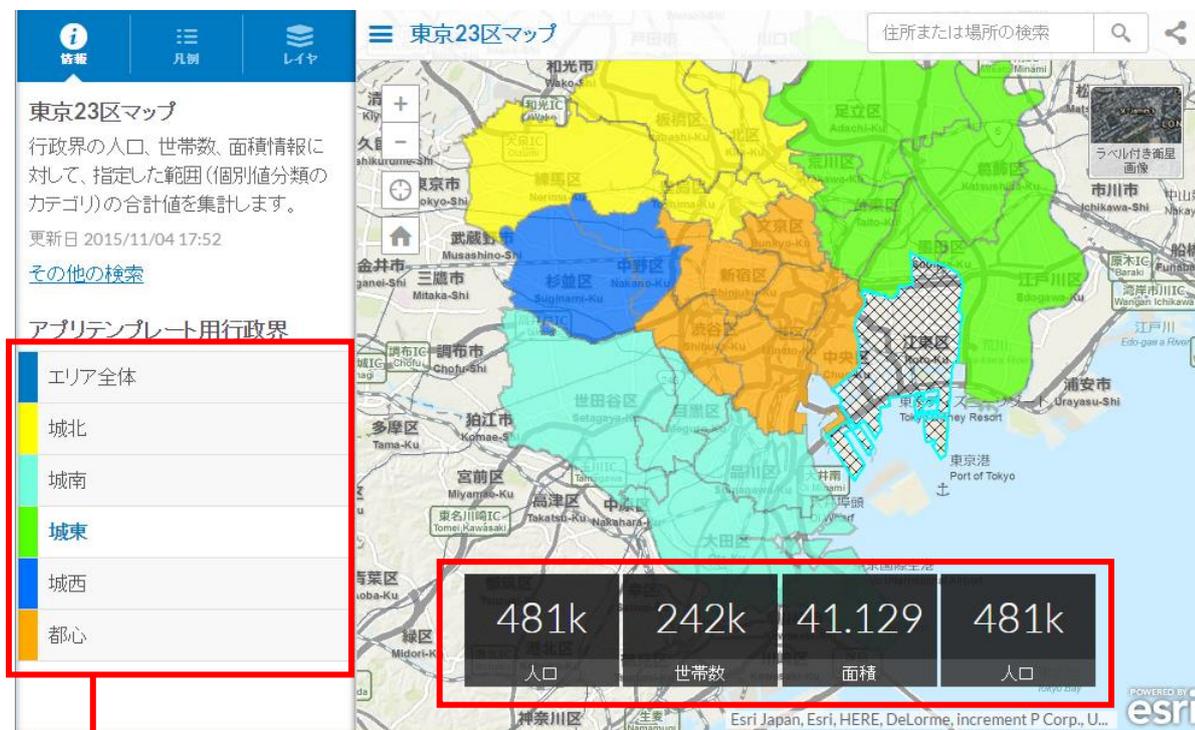
- フィルター機能を提供したい場合。

● ソース

<https://github.com/Esri/InteractiveFilter>

影響サマリー

選択したポリゴン フィーチャの数値属性のサマリーを表示します。



選択フィーチャの数値情報

個別値シンボルを設定しておく、凡例として表示。クリックしてフィーチャを選択状態にし、数値の合計値を表示。

● 作成時の注意点

– マップに数値フィールドを持つポリゴン フィーチャ レイヤーを追加しておく必要があります。

● 使用方法

– ポリゴン フィーチャをクリックして選択し、数値情報を表示します。

– 数値の単位が大きい場合は、「k (キロ、千)」や「m (メガ、100万)」で簡略表示されます。

● 活用シーン

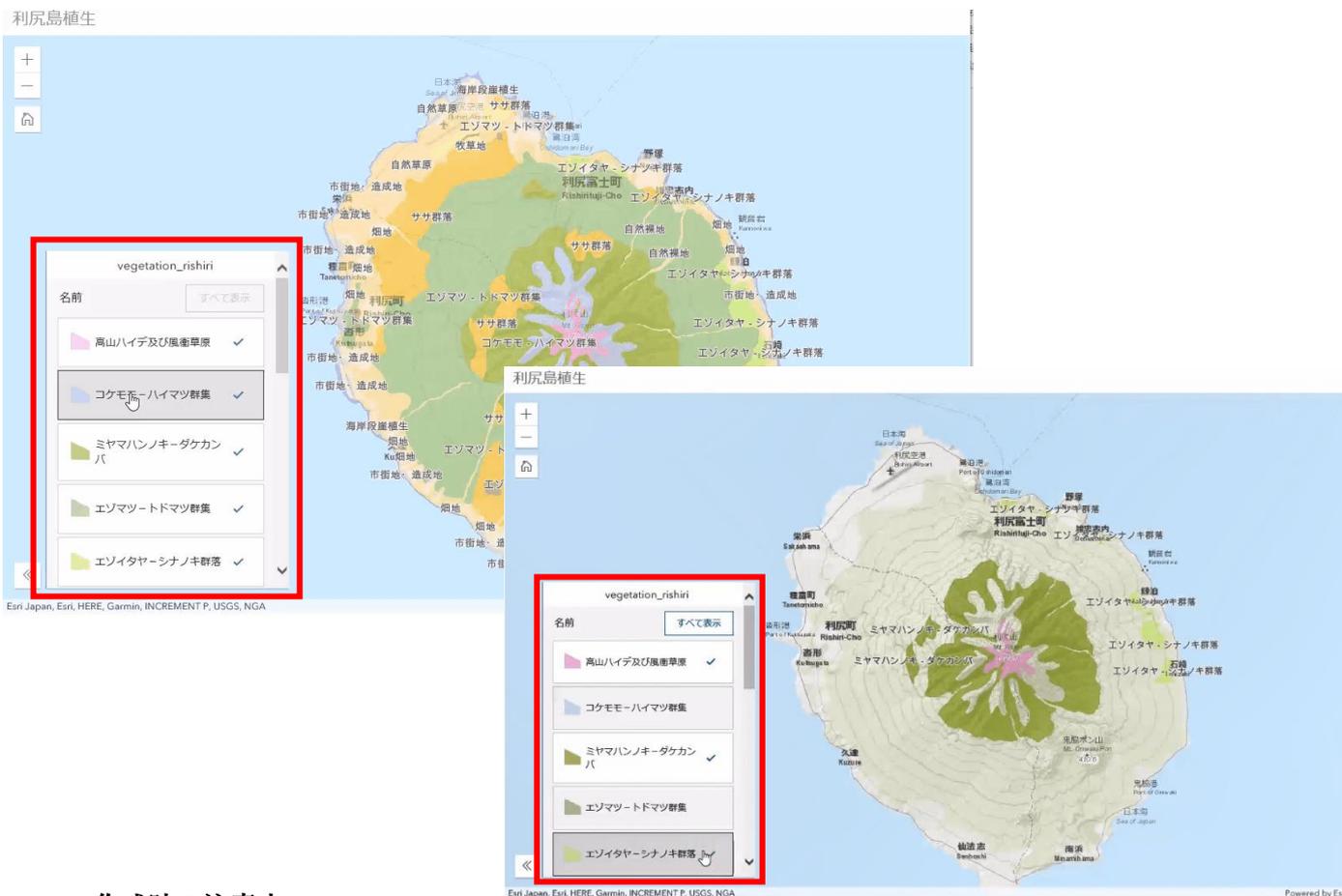
– ポリゴンの数値情報をわかりやすく表示したい場合。

● ソース

<https://github.com/Esri/impact-summary-map-template-js>

対話形式の凡例

凡例のカテゴリをクリックして、対話的に地図上のフィーチャをフィルター表示できます。



- 作成時の注意点

- マップに追加したフィーチャは個別値シンボルで設定しておく必要があります。

- 使用方法

- 凡例をクリックして、マップ上で対応するフィーチャの表示/非表示を切り替えます。

- 活用シーン

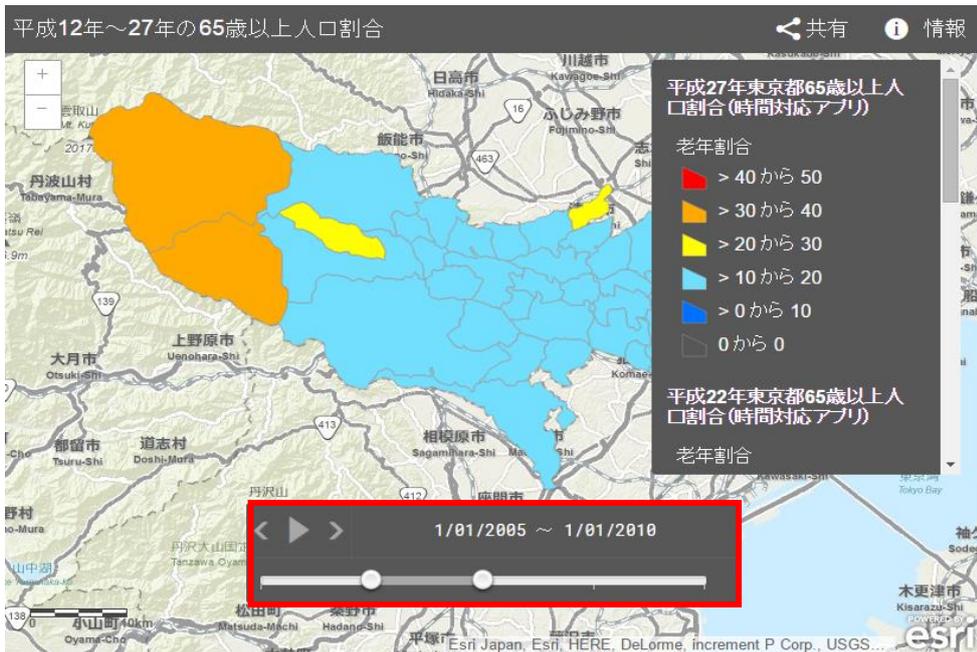
- フィルターの設定を使わずに、クリック操作で簡単にマップ上のフィーチャをフィルター表示したい場合。

- ソース

<https://github.com/Esri/interactive-legend>

時間対応

時系列アニメーションを表示する機能を提供します。



タイム スライダー

● 作成時の注意点

- 日付型フィールドを持ち、[時間の有効化] の設定がされたフィーチャ レイヤーがマップに追加されている必要があります。

 ArcGIS Online ヘルプ: 時間設定の構成

<http://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/create-maps/configure-time.htm>

● 使用方法

- タイム スライダーの再生ボタンをクリックして、アニメーションを再生します。

● 活用シーン

- 時間属性を持つデータを時系列アニメーションで表示したい場合。

● ソース

<https://github.com/Esri/time-aware-template>

標高グラフ

選択したラインまたは描画したラインを断面線として標高グラフを作成、表示します。



- 作成時の注意点

- 特になし

- 使用方法

- マップにライン レイヤーが追加されている場合は、ラインをクリックします。
-  をクリックし、マップ上にラインを描画します。
- グラフ上でマウス オーバーした地点の標高と、出発地点の標高との差が表示されます。またマウス オーバーした地点が、マップ上のラインでも×印のアイコンで表示されます。

- 活用シーン

- 道路や河川、または任意のラインに沿った断面図を表示したい場合。

- ソース

<https://github.com/Esri/elevation-profile-template>

地域の概要表示

指定した地点を中心とする円の中にあるフィーチャ一覧の表示、そのフィーチャまでのルート案内機能、気象情報を提供します。

現在の場所を検索



検索結果一覧

● 作成時の注意点

- マップにフィーチャ レイヤーを追加しておく必要があります。
- [Enable routing direction] を有効にすると、ルート案内が可能になります。ユーザーがルート検索を行うと、アプリ提供者の組織サイトのサービス クレジットが消費されます。

● 使用方法

1. 検索ボックスに住所を入力するか、[現在の場所を検索]  をクリックするか、マップ上をクリックして、位置を指定します。
2. 検索円の半径を指定します。
3. マップに追加されているすべてのレイヤーの検索円内のフィーチャが検索結果一覧に表示されます。
4. ルート案内機能が有効になっている場合は、 をクリックしてルートを表示します。

● 活用シーン

- 指定した地点または現在地の周辺にある施設などを検索する機能を提供したい場合。

● ソース

<https://github.com/SpatialAgent/local-perspective>

近傍

特定の検索位置の周辺にあるフィーチャの情報を表示します。検索範囲はスライドバーを動かして動的に検索円の半径を変更でき、その半径内に含まれるフィーチャ数も自動計算されます。

The screenshot displays the 'Tree Survey Map' interface. At the top, there is a search bar with the text '住所を入力して場所を検索' (Enter address to search for location). Below the search bar, there is a radius selection control with a slider and the text '検索円の半径指定' (Specify search circle radius). The radius is currently set to 2.5 kilometers. To the right, there is a map showing a search circle centered on a location in Tokyo. The map is labeled '検索位置のクリア' (Clear search location). Below the map, there is a table of search results. The table has columns for 'surveyPoint', '状況' (Status), 'その他 状況' (Other status), '樹高' (Tree height), 'その他 特筆事項' (Other special notes), '調査日時' (Survey date), '樹種名' (Tree name), '樹勢' (Tree vigor), '残っているか' (Is it still there?), '危険度' (Danger level), '緊急性' (Urgency), '新回り' (New return), and '樹木の周囲の土地区分' (Land use around the tree). The first result is for a tree named 'スズカケノキ' (Suzukakenoki) surveyed on 2019/4/4 12:55. Below the table, there is a section for '添付ファイル' (Attachments) showing a file named '38CE54A4-3CB6-4F92-A33E-82AD6DD7E123.jpeg' uploaded on 2019/4/4 12:56. A red box highlights the search bar and radius control, and a red text overlay reads '検索結果のフィーチャの情報' (Information of features in search results).

● 作成時の注意点

– マップにフィーチャ レイヤーを追加しておく必要があります。

● 使用方法

1. マップ上をクリックするか、住所を入力して位置を指定します。
2. 検索円の半径を指定します。
3. マップに追加されているすべてのレイヤーの検索円内のフィーチャの情報が表示されます。

● 活用シーン

- ある地点を検索して、周辺に位置するフィーチャを検索したい場合。
- 指定した地点周辺の施設情報を一括で表示・確認したい場合。

● ソース

<https://github.com/Esri/nearby>

ゾーン ルックアップ

指定した地点と重なるエリア（ポリゴン）のレイヤーの属性情報を一覧表示します。

立地情報検索アプリ

北海道札幌市中央区宮ケ丘1-1-1

すべて折りたたむ すべて開く

学区: 円山小学校

設置主体	札幌市立
名称	円山小学校
所在地	札幌市中央区北一条西25

> 地価 (平成24年) : 154,905.42 ~ 281,712.40

地形_地質: 低地

大分類	低地
小分類	扇状地性低地
液状化危険度	小さい

> 照出没リスク: あり

> 駅までの距離: 1,000 m 以内

指定した地点と重なるエリア レイヤーの属性情報を表示

● 作成時の注意点

– マップにエリア（ポリゴン）のフィーチャ レイヤーを追加しておく必要があります。

● 使用方法

– 検索ボックスに住所を入力するか、マップ上をクリックして、位置を指定します。

– 位置と重なるフィーチャ レイヤーの属性情報がリスト表示されます。

● 活用シーン

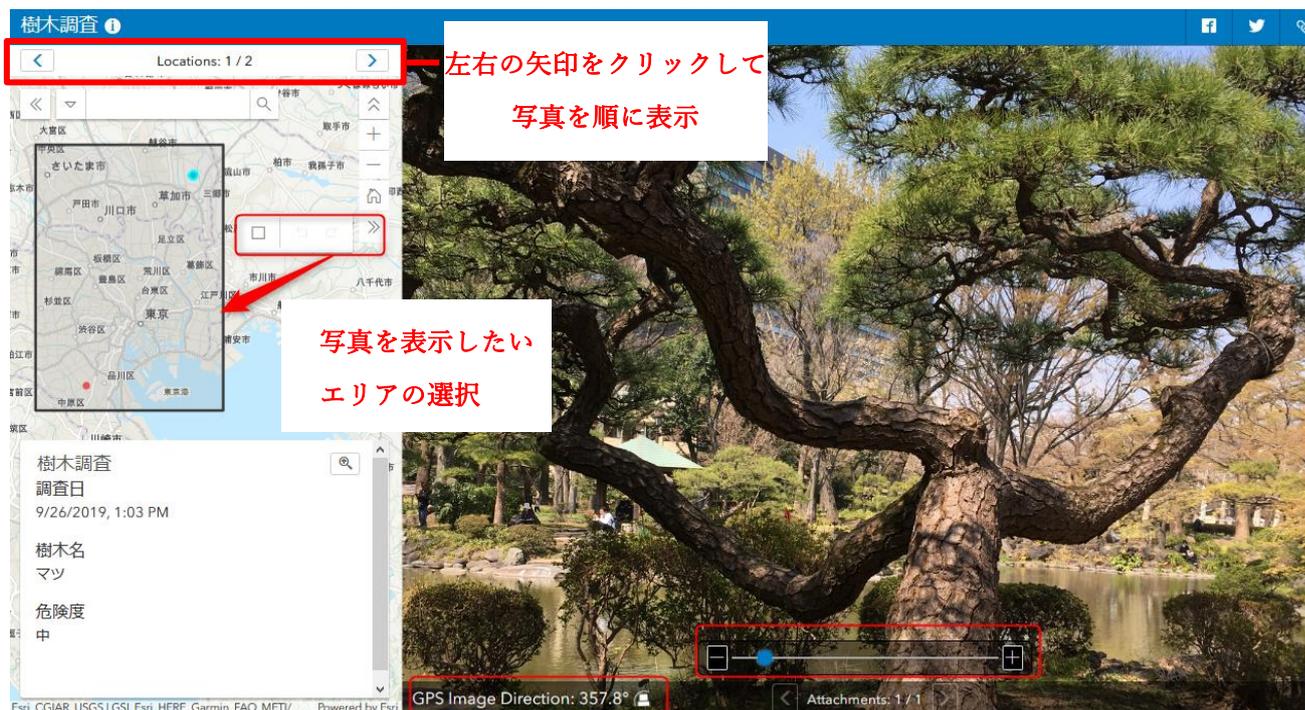
– 指定した地点の複数のレイヤー情報を一度に検索する機能を提供したい場合。特定の地点の浸水、土砂崩れ、地震の危険度などの災害情報や人口などの統計情報をエリア レイヤーとしてマップに追加しておくこと、ワンクリックでその地点の情報を一度に表示できます。

● ソース

<https://github.com/Esri/zone-lookup>

添付ファイル ビューアー

フィーチャ レイヤーに添付されている写真を表示します。



● 作成時の注意点

– 写真が添付されたフィーチャ レイヤーをマップに追加しておく必要があります。

● 使用方法

- マップ上のフィーチャをクリックして、写真を表示します。
- マップの上にある左右の矢印をクリックして、写真を順番に表示します。
- 写真の拡大・縮小ボタンの配置や撮影方向の表示ができます。
- 写真を表示したいエリアを選択できます。
- 検索ボックスに属性値を入力して、特定のフィーチャを検索できます。

● 活用シーン

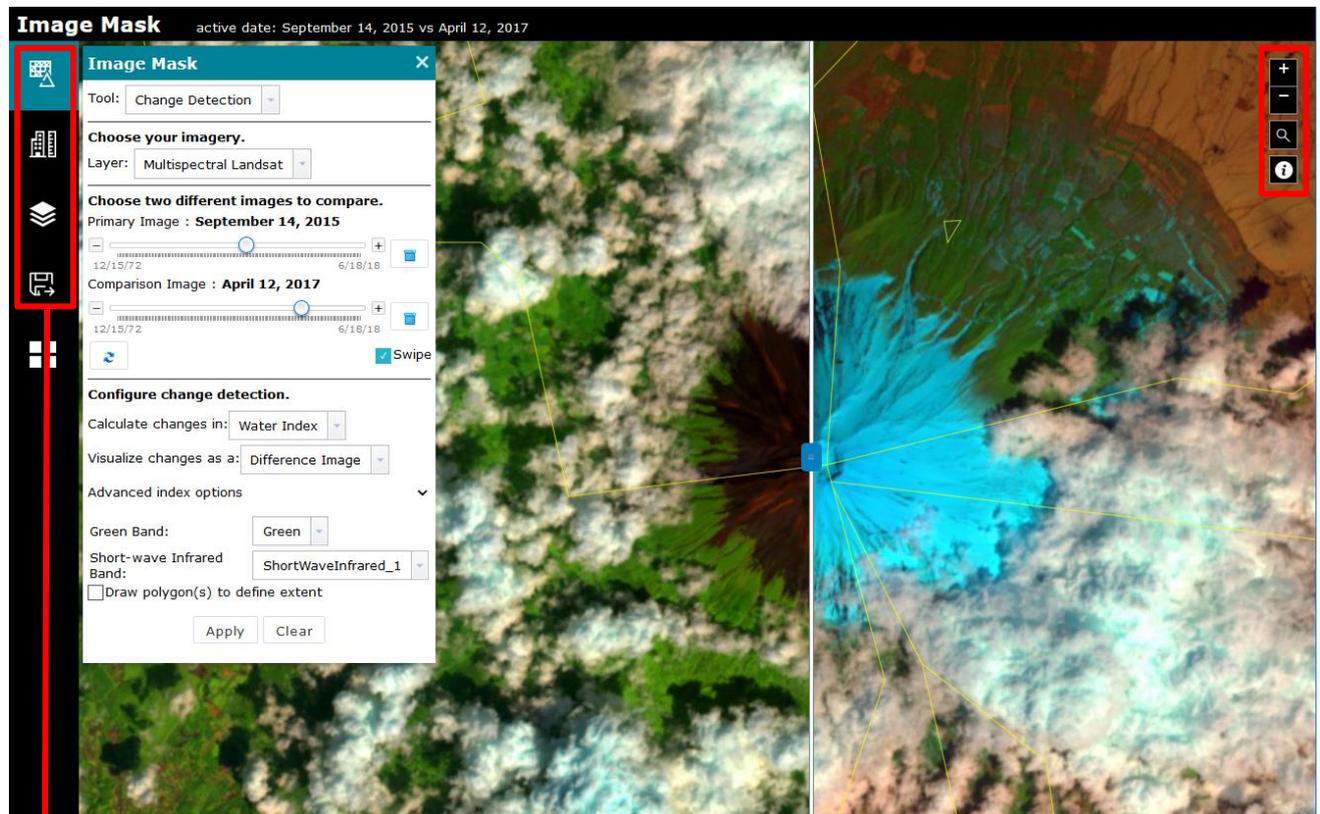
– 現地調査アプリなどで収集したデータの添付写真を確認したい場合。

● ソース

<https://github.com/Esri/attachment-viewer>

Image Mask

1 つのイメージ レイヤーに指数を適用して表示したり、1 つのイメージ レイヤー内の異なる時期の変化をスワイプや指数を適用した状態で表示します。



利用できる機能：住所と場所検索、凡例、ベースマップの切替え、レイヤーの表示/非表示、計測（高さを計測したい場合は設定が必要）、ブックマーク、編集

● 作成時の注意点

– イメージ レイヤーおよび行政区界などフィーチャ レイヤーを表示したい場合は、マップに追加しておく必要があります。

● 使用方法

– [Mask] を選択した場合は、指数を選択し適用します。

– [Change Detection] を選択した場合は、1 つのイメージ レイヤー内から 2 つの撮影日をスライダーで設定します。また指数を指定し、適用します。

● 活用シーン

– 植生や水指数などを使い土地利用状況を確認したい場合。

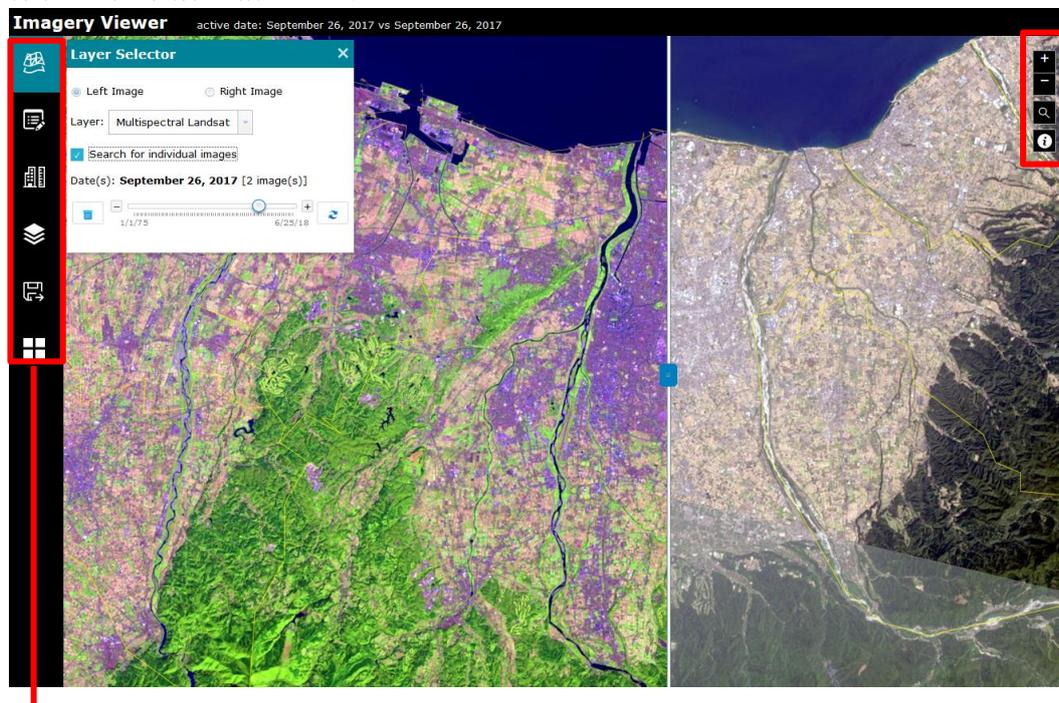
– ある地点の時間の変化を確認したい場合。

● ソース

<https://github.com/Esri/image-change-detection-template>

Imagery Viewer

1 つまたは複数のイメージ レイヤーをスワイプで比較します。1 つのイメージ レイヤーで異なる撮影日時の画像を指定して表示することも可能です。



利用できる機能：住所と場所検索、凡例、ベースマップの切替え、レイヤーの表示/非表示、計測（高さを計測したい場合は設定が必要）、ブックマーク、編集

● 作成時の注意点

– イメージ レイヤーおよび行政区界などフィーチャ レイヤーを表示したい場合は、マップに追加しておく必要があります。

● 使用方法

– [Left Image] または [Right Image] で左側と右側でそれぞれ表示するイメージ レイヤーを [Layer] から選択します。

– [Search for Individual Images] チェックボックスをオンにすると、それぞれのレイヤーから撮影日時を指定して表示します。

● 活用シーン

– ある地点の経年変化を比較したい場合。

– 異なる衛星画像やレイヤーと比較したい場合。

● ソース

<https://github.com/Esri/imagery-viewer-template>

Image Visit

定義済みの場所を順番に表示し、画像データの属性を簡単に表示できるアプリです。画像上に判読データや注記などのデータ入力も可能です。



● 作成時の注意点

- イメージ レイヤーをマップに追加しておく必要があります。表示範囲を指定するために、マップにブックマークを設定するか、Visit レイヤーとしてフィーチャ レイヤーを追加する必要があります。
- 編集を行いたい場合は、Visit レイヤーのフィーチャ レイヤーの他に、編集可能なフィーチャ レイヤーを追加します。

● 使用方法

- [Record] に数字を入力し、[Layer Toggle] をクリックすると、定義された場所が表示され、イメージ レイヤーの属性情報が表示されます。
- 編集用のフィーチャ レイヤーが追加されている場合は、[Edit Notes] をオンにしてマップ上にフィーチャを描画します。

● 活用シーン

- 災害後などに、施設や被害地を画像上で順番に確認したい場合。
- 航空写真のコントロール ポイントを順番に確認したい場合。

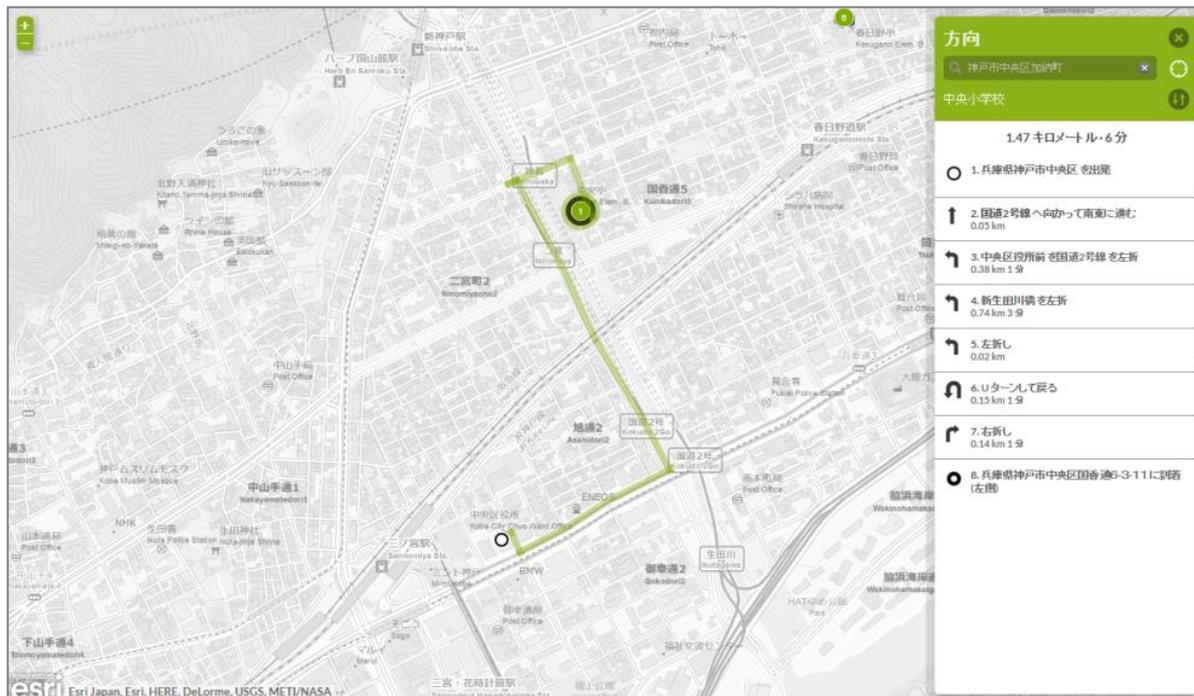
● ソース

<https://github.com/Esri/image-visit-template>

ルート案内

ルート案内

指定した地点から特定の目的地までのルート案内、またはレイヤー内の一番近いフィーチャまでのルート案内機能を提供します。



● 作成時の注意点

- ユーザーがルート検索を行うと、アプリ提供者の組織サイトのサービス クレジットが消費されます。
- 最寄りフィーチャへのルート案内をしたい場合は、マップにフィーチャ レイヤーを追加し、[Destination Layer] に指定します。
- 特定の目的地までのルート案内を提供する場合は、[Alternate Destination] の設定に住所また緯度経度を入力します。

● 使用方法

1. 検索ボックスに住所を入力するか、[現在の場所を検索] をクリックするか、マップ上をクリックして、出発地点を指定します。
2. 出発地点から目的地までのルート案内が表示されます。

● 活用シーン

- 指定した地点から一番近いフィーチャまでのルート案内機能を提供したい場合。

● ソース

<https://github.com/SpatialAgent/directions>

3D の表示

シンプル シーン ビューアー

レイヤーの表示/非表示、スライド、住所と場所の検索機能が追加されたシンプルな 3D シーン ビューアーです。



レイヤー スライド 住所または場所の検索

- 作成時の注意点
 - シーンを用意しておく必要があります。
 - スライド機能を利用する場合、シーンでブックマークを作成しておく必要があります。
- 使用方法
 - 左クリック + ドラッグすると、画面移動が行えます。
 - 右クリック + ドラッグすると、傾きを変更できます。
 - [レイヤー]  をクリックすると、レイヤーの表示/非表示を切り替えられます。
 - [スライド]  をクリックすると、シーンに保存されたスライドを表示できます。
- 活用シーン
 - シンプルな機能のみの 3D ビューアーを提供したい場合。
- ソース

<https://github.com/SpatialAgent/3DScene>

3D データの視覚化

ポイントを数値属性の値で立ち上げて、3D で表示するビューアーです。



- 作成時の注意点

- 数値型フィールドを持つポイント レイヤーを追加したグローバル シーンを用意しておく必要があります。

- 使用方法

- アプリを起動すると、グローブが自動で回転します。

- [切り替え]  をクリックすると、下部に属性値を最高値から最低値までランク付けした値が表示されます。

- [再生-一時停止]  をクリックすると、グローブを回転、停止できます。

- 活用シーン

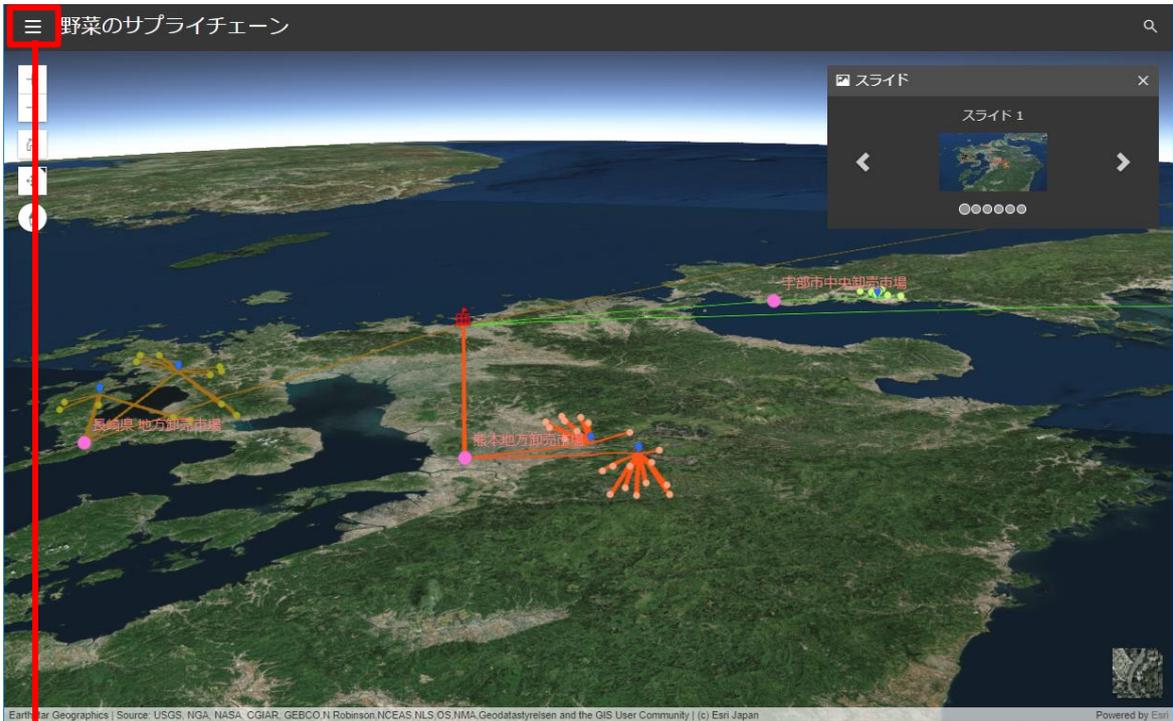
- 世界各地の値を、3D 上で立ち上げて表示したい場合。

- ソース

<https://github.com/SpatialAgent/3DViz>

シーン スタイラー

3D シーンの外観を簡単にカスタマイズできるシンプルでスタイリッシュなビューアーです。



有効化されたツールへアクセス

- 作成時の注意点

- シーンを用意しておく必要があります。

- 使用方法

- 左クリック + ドラッグすると、画面移動が行えます。

- 右クリック + ドラッグすると、傾きを変更できます。

-  をクリックすると、凡例、レイヤー、ベースマップ、スライド、共有ツールへアクセスできます。

- 活用シーン

- シンプルな機能のみの 3D ビューアーを提供したい場合。

- ソース

<https://github.com/Esri/calcite-maps-styler-template>

シーンとインセット マップ

3D シーンと 2D 上での視点の位置を表示するインセット マップが含まれたビューアーです。



- 作成時の注意点

- シーンを作成しておく必要があります。

- 使用方法

- 左クリック + ドラッグすると、画面移動が行えます。

- 右クリック + ドラッグすると、傾きを変更できます。

- 活用シーン

- 3D と 2D のマップを並べて表示するビューアーを提供したい場合。特に、大縮尺の表示で自分の視点がどこなのか知りたい場合に便利です。

- ソース

<https://github.com/Esri/scene-inset-map>

ギャラリーの作成

カテゴリ ギャラリー

グループに共有されている各アイテムを、さまざまなカテゴリでフィルターできるギャラリー アプリです。フィルターに表示させるカテゴリは、アプリの設定画面で自由に組み合わせることができます。



● 作成時の注意点

– 複数の ArcGIS Online 上のコンテンツをグループに共有する必要があります。

● 使用方法

– [フィルター] ボタンをクリックし、絞り込みたいカテゴリを選択します。

– 検索ボックスにキーワードを入力して、コンテンツを検索します。

– サムネイル画像をクリックし、コンテンツを簡易なビューアー、または別タブで表示します。

● 活用シーン

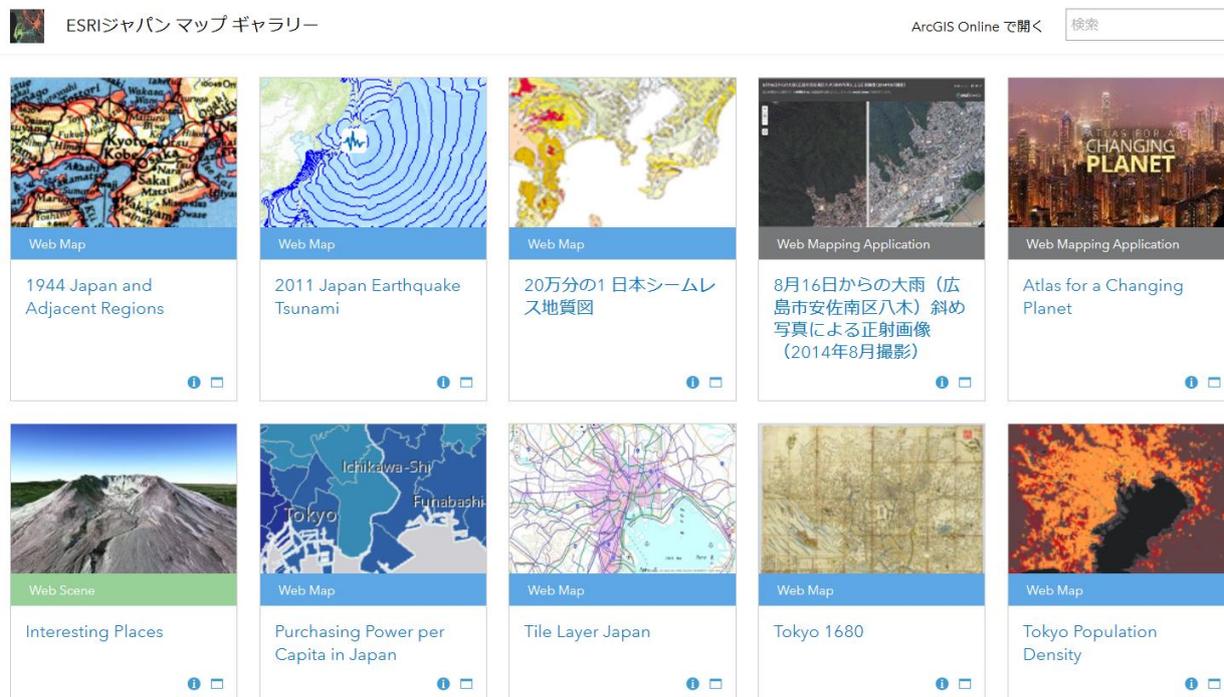
マップ、アプリ、画像、Word ドキュメントなどの ArcGIS Online 上のコンテンツをまとめて一覧表示する機能を提供したい場合。特定のアイテム タイプのみを表示したい場合、またその表示をユーザー側で自由に変更できる機能を提供したい場合。

● ソース

<https://github.com/Esri/filter-gallery>

ミニマル ギャラリー

グループ内のコンテンツをシンプルに一覧表示できるギャラリー アプリです。特定のアイテム タイプのみを表示できます。各アイテムは、サムネイルをクリックすると簡易なビューアーで見ることができます。



● 作成時の注意点

– 複数の ArcGIS Online 上のコンテンツをグループに共有する必要があります。

● 使用方法

- サムネイル画像をクリックし、コンテンツを簡易なビューアー、または別タブで表示します。
- 検索ボックスにキーワードを入力して、コンテンツを検索します。

● 活用シーン

マップ、アプリ、画像、Word ドキュメントなどの ArcGIS Online 上のコンテンツをまとめて一覧表示する機能を提供したい場合。特定のアイテム タイプのみを表示したい場合。

● ソース

<https://github.com/Esri/minimal-gallery>

レイヤー ショーケース

グループ内のレイヤーを一覧表示し、2D と 3D ビューアーで簡易表示できるギャラリー アプリです。



- 作成時の注意点

- レイヤーをグループに共有する必要があります。

- 使用方法

- レイヤーのサムネイル画像をクリックし、マップに追加して表示します。
- 2D から 3D に切り替えて、3D 表示をします。

- 活用シーン

マップ、アプリ、画像、Word ドキュメントなどの ArcGIS Online 上のコンテンツをまとめて一覧表示する機能を提供したい場合。特定のアイテム タイプのみを表示したい場合。

- ソース

<https://github.com/Esri/ribbon-gallery>

ArcGIS OnlineWeb アプリ テンプレート一覧資料

2020 年 4 月

ESRI ジャパン株式会社

<https://www.esrij.com/>

Copyright(C) Esri Japan. 無断転載を禁ず

本書に記載されている社名、商品名は、各社の商標および登録商標です。

本書に記載されている内容は改良のため、予告なく変更される場合があります。

本書の内容は参考情報の提供を目的としており、本書に含まれる情報はその使用先の自己の責任において利用して頂く必要があります。

